

東北電力株式会社  
取締役社長 樋口 康二郎 様

## 新型コロナウイルス感染拡大状況下での 女川原発「安全対策工事」の停止を求める申し入れ

4月7日「新型インフルエンザ等対策特別措置法」（特措法）に基づく緊急事態宣言が出され、4月16日には宮城県を含む全国へ対象地域が拡大されました。宮城県においては、爆発的な感染拡大は回避されていますが、第2波の流行への警戒を怠ることは出来ず、引き続き緊張感を持った対策が求められています。

そのような中、貴社の女川原発では、安全対策工事のため、毎日約2,000人の作業員が原発サイト内に入り、作業が続けられています。原発内で「3密」を避けながら作業が出来るとは考えられず、新型コロナウイルス感染のリスクが高い状態の作業が続行されていると考えられます。まずもって、作業員の健康管理を第一義に考えて頂きたいと思えます。

実際、他社の原発の状況を見ると、九州電力玄海原発では特重施設工事現場の大林組社員2名が新型コロナウイルスに感染し、2週間以上工事が中断しています。また東京電力は柏崎市内の感染者5名全員が東電関係者だったことを受け、柏崎刈羽原発の工事中断に追い込まれています。

原発内の「密閉」空間での「密集」作業、「密接」生活（休憩時間等も含む）では、作業員の十分な感染拡大防止策が取れるはずがないのです。何千人もの作業員が同時にサイト内に入っていれば、それだけで、無症状のまま新型コロナウイルス感染が拡大している可能性もあります。2000人の作業員の中から一人でも感染者が確認されれば、その時点ではすでに遅く、感染がかなりの範囲に広がっていると見なければなりません。

貴社は「原発の安全のため安全対策工事は必要だ」としていますが、基本的に安全対策工事は女川原発2号機再稼働のために進めているものであり、作業員の新型コロナウイルス感染のリスクが高い状況下で、無理に進めなければならない理由はありません。

もちろん、貴社は特措法に基づく指定公共機関として、「電気及びガスの安定的な供給及び現場の安全の確保に万全を期す」ことを政府から要請されていますが、それは「電力の供給」であって、「安全対策工事の強行」ではありません。

もし、新型コロナウイルス感染が終息しない段階で原発が重大事故を起こせば、感染リスクが高い中での避難計画は破綻せざるを得ないでしょう。そのリスクを冒して工事を続けることは正当化出来ません。

たとえば、避難には、避難用のバス、避難所など、あらゆる場面で3密の環境が発生します。また各地で医療崩壊が叫ばれるほど、医療体制には過重な負荷がかかっています。すでに政府や自治体は新型コロナウイルス対策で忙殺されています。この状況下で重大事故が発生すれば、もはや対処は不可能です。

原子力事業者は、「安全文化」（組織と個人が安全を最優先する風土や気風）を掲げて活動しています（IAEA）。原子力規制委員会は「原子力安全文化に関する宣言」を発し、この中で、「100%の安全はない、重大な事故は起こり得るとの透徹した認識のもと『人と環境を守る』ため、安全が常に最優先されなければならない」と宣言しています。であるならば、原子力事業者は、率先して、安全の余裕を持って、新型コロナウイルス感染症に対処すべきです。現在、女川原発サイトで行われている工事は即時停止し、絶対に事故やトラブルを起こさないよう、原発の保守管理に集中すべきです。

そこで、緊急に、以下の申し入れを行いますので、真摯にご検討下さい。

1. **新型コロナウイルス感染が終息するまで、女川原発の安全対策工事を停止して下さい。**
2. **新型コロナウイルス感染が終息しない状況下で、事故やトラブルを絶対に起こさないよう、女川原発の保守管理に集中し、徹底して下さい。**

以上

<共同提出団体>

- ・女川原発の再稼働を許さない！みやぎアクション（代表：鈴木宏一）
- ・宮城県護憲平和センター（理事長：砂金直美）
- ・原発問題住民運動宮城県連絡センター（共同代表：小林立雄 斉藤信一）
- ・東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター（代表世話人：綱島不二雄 菊地修）
- ・生活協同組合あいコープみやぎ（理事長：高橋千佳）
- ・子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ（共同代表：小澤かつ 児玉芳江 佐藤郁子 村口喜代 山田いずみ）
- ・船形山のブナを守る会（代表世話人：小関俊夫）
- ・女川から未来を考える会（代表：阿部美紀子）
- ・止めようプルサーマル！止めよう核燃料サイクル！女川原発地元連絡会（代表：近藤武文）
- ・女川原発の再稼働を許さない石巻地域の会（代表：松浦健太郎）
- ・女川原発の危険から住民の生命と財産を守る会（事務局長：高野博）
- ・放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク（代表：鈴木健三）
- ・女川原発の避難計画を考える会（代表：原伸雄）
- ・みやぎ脱原発・風の会（事務局長：舘脇章宏）
- ・脱原発仙台市民会議（共同代表：篠原弘典 水戸部秀利）
- ・さようなら原発いしのまき実行委員会（実行委員長：佐藤清吾）
- ・みやぎ金曜デモの会（代表：西 新太郎）
- ・女川原発の再稼働に反対する東松島市民の会（事務局長：石垣好春）

<連絡先>

仙台市泉区虹の丘3-5-13 篠原方 TEL 022-373-7000